

平成23年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市障害者体育センター
所在地	四日市市西日野町4070番地1
指定管理者	<p>名称 特定非営利活動法人 障害者福祉チャレンジド・ネット</p> <p>代表者 理事長 山本 征雄</p> <p>住所 四日市市小林町3017番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>福祉部障害福祉課</p> <p>TEL：059-354-8171</p> <p>E-mail：syougai-fukushi@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

平成23年度の四日市市障害者体育センターの管理運営状況については、以前まで多くの機会を利用していただいていた特別支援学校西日野にじ学園の他市への分校新設に伴い、体育センターでの利用が大幅に減少したことから、障害児(者)の利用が大幅に減少しました。これにより、年間利用者数は減少しましたが、一般利用者数についていえば昨年とほぼ横ばいであり、また一回当たりの利用料が大きい団体の利用回数が増加したことから、収入増加につながりました。職員の交通費や施設備品の修繕等で支出額が大きくなり、収支は多少の赤字にはなりましたが、必要経費であることから考えると運営自体に特に問題はないと考えます。

法人が実施したアンケートからは、前年に引き続き、質の高いサービスが提供され、満足度が高いという結果が得られました。今後は指定管理者として、「障害者のスポーツ振興を図り、その自立と社会参加を促進する」という施設の本来目的を達成するために、より多くの障害者にご利用いただき、交流の場を設けるための創意工夫が今後必要になると判断します。

施設の維持管理においては、障害者の視点に立った施設整備等が常日頃からなされ、整理整頓・清潔・安全面に配慮されて運営されており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施しました。23年度も、体育センターに隣接する4つの福祉施設と連携して、合同防災担当者会議を通して諸課題を共有するなど、常に防災に対する意識も徹底しています。また、地域の避難所としての危機管理体制を職員に周知するなど、職員の意識向上に努力しています。

安全性の確保、利用者の環境維持のための保守管理に優先的に経費が投入され適正な経営であると判断します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、以下のとおり、市の運営方針を指導していきます。

- ・当施設の目的である障害者スポーツの振興について、障害者の利用拡大がさらに図られるとともに、安心かつ安全に施設利用ができること。
- ・申込書・料金徴収・申込取消等の書類を整備し、申込者のニーズに応じた対応ができるようフィードバック機能を充実させること。
- ・アンケート内容の工夫等により利用者側の意見を十分に聞き取り、より一層利用しやすい環境づくりに努めること。
- ・指定管理者の特性を生かして、障害者団体・関係機関等と連携し、さらに活性化を図ること。
- ・より多くの障害者に体育センターをご利用いただくために、更なる周知の徹底を行うこと。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

障害者の自立と社会参加を促進し、生活を豊かにするスポーツを楽しむ場を提供するという、施設の目的に沿った実施方針に基づき適切に管理運営が行われています。施設運営や利用者への対応については、従来から利用が多かった身体障害者のみならず知的障害者団体や精神障害者団体も公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されています。

23年度は前年に引き続き障害者の利用数が減少したため、今まで利用していただいている障害者以外にも、新規の利用者をどのようにして増やしていくのかを考える必要があると考えます。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

指定管理者として障害者利用の観点にたった管理運営が実施されていて、出入口はスロープになっており、館内の通路は全て段差がない等、障害者が使いやすいように整備されています。また、障害者スポーツの普及啓発と社会参加を進めるため、引き続き自主運営事業を実施し普及啓発に努めています。

障害者スポーツ以外にも、障害者団体・近隣施設・地域等と、防災訓練や交流を図るなど、今年度も様々な方との交流機会を設けるなど、評価できる事業を展開しました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

障害をもつ職員が、交代勤務体制で自身の健康管理もしながら従事しています。また、大規模災害の発生を想定して、定期的に避難訓練や研修を行うなど、地域の一次避難場所としての役割と責務を職員に徹底しています。施設の維持管理についても、細部に渡り点検・補修されており、毎月の実績を市担当課に報告するとともに、異常等については速やかに連絡をしています。また適正な管理運営のあり方について職員研修が実施されました。

明瞭性・規程性（公正な事務や経理）

利用料金の収入や、施設管理費等の支出について適正に処理され、領収書や計算書類及び諸帳簿も整理されていました。また、施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

建物検査の結果に基づき、指定管理者としての責任範囲について、迅速に対応し、良好な施設環境の維持に努めていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

AED装置・大規模災害時の速報装置の点検を日々実施して危機管理に備えると共に、利用者からの意見も聴取し、非常時の誘導等に反映できるよう職員間で研修していました。また大規模災害時は、四郷地区市民センターを核とする組織体制のもとでの当該施設の役割と責務を再確認し、対応マニュアルを整備するなど職員間で徹底されています。

また、体育センターに隣接する複数の福祉施設と連携して、定期的に避難・誘導訓練や研修を行っており、防災のための準備や意識も徹底されています。

社会性（市民等への配慮）

前年から引き続き、不要箇所の照明の消灯などに努めていました。また、障害者利用時には適切な対応がとられていました。

事業収支

業務効率性

前年度に引き続き、清掃・点検・補修が定期的に行われていたことから、消耗品や事務用品等の支出においては効率的にコスト削減を行っています。設備の修繕等で23年度の収益は多少の赤字になりましたが、施設利用による収入が増えていることもあり、大きな問題点はないと思われます。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について財務諸表等を分析した結果、固定資産があるので安定しており、特に大きな課題や問題はないと判断しました。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成23年度

施設名	四日市市障害者体育センター		所管課： 障害福祉課
所在地	四日市市西日野町4070-1		設置年月：平成15年4月1日 (昭和52年5月29日三重勤労身体障害者体育センター)
設置目的	四日市市障害者体育センターは、障害者のスポーツ振興を図り、その自立と社会参加を促進することを目的とします。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市障害者体育センター条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	2804.00
		延床面積 (㎡)	975.51
		体育室725.76㎡、事務室20.98㎡、更衣室・便所等228.77㎡	
事業概要		開館日 休館日(毎週火曜日、祝日、12月29日～1月3日)を除く日 利用者 ①障害者及びその付添者 ②障害者の団体 ③障害者のための事業の主催者 ④アマチュア・スポーツ団体 ⑤その他市長が特に認めたもの 利用料金 ①～③免除 午前 午後 夜間 午前午後 午後夜間 ④ 630円 740円 1,160円 1,160円 1,470円 ⑤ 1,470円 2,000円 2,730円 2,730円 3,780円 他付属設備等 600円	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	297日	297日	計画通り
開館時間	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水曜日～土曜日 午後1時～午後9時	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水曜日～土曜日 午後1時～午後9時	計画通り

3. 利用実績

項目	前年実績	実施内容 (事業報告書)	対前年比	
延べ利用者数	障害者利用数	2,310	1,645	△665
	一般利用者数	3,941	3,898	△43
稼働率	平均	81.7%	74.1%	△7.6%
	平日	83.4%	72.3%	△11.1%
	土日祝	78.4%	77.4%	△1.0%

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	4,250,000	4,250,000	0
利用料金収入	150,000	285,151	135,151
収入計	4,400,000	4,535,151	135,151
人件費	3,218,000	3,431,295	213,295
管理費	1,182,000	1,118,356	△ 63,644
消耗品費	240,000	30,461	△ 209,539
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	459,000	462,468	3,468
修繕料	145,000	187,000	42,000
通信運搬費	37,000	46,757	9,757
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	100,000	90,770	△ 9,230
委託料	168,000	161,400	△ 6,600
賃借料	0	0	0
その他	33,000	12,000	△ 21,000
租税公課	0	127,500	127,500
事業費(ソフト事業等)	0	0	0
一般管理費	0	0	0
支出計	4,400,000	4,549,651	149,651
収支	0	△ 14,500	△ 14,500

平成23年 運営状況 障害者体育センター チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	297日	297日	計画通り	計画通り開館された。	適
開館時間	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水～土曜日午後1時～午後9時	日曜日 午前9時～午後5時 月曜日 午後1時～午後5時 水～土曜日午後1時～午後9時	計画通り		
事業開催	11回	8回	△3回	他事業との重複のため中止になった事業が3つある。	

2. 利用実績

項目	前年実績	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	障害利用者数	2,310	1,645	△665	障害者団体の利用は減少し、一般の利用者はほぼ横ばいで推移している。	適
	一般利用者数	3,941	3,898	△43		
稼働率	平均	81.7%	74.1%	△7.6%	土日・祝日の利用率はほぼ変わらないものの、平日での利用が大幅に減少したことにより、全体の稼働率も低下した。	適
	平日	83.4%	72.3%	△11.1%		
	土日祝	78.4%	77.4%	△1.0%		

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料	A設備 150,000	285,151	135,151	利用者数は減少したものの、一回当たりの利用料が大きい団体の利用回数が増加したことから、料金収入は計画を上回った。	適
金収入	B設備 0	0	0		
指定管理料	4,250,000	4,250,000	0		
自主事業収入	A事業 0 B事業 0	0 0	0 0		
収入計	4,400,000	4,535,151	135,151		
人件費	3,218,000	3,431,295	213,295	〔勤務体制：正職1人、臨時5人〕 節約意識を徹底し、施設の整理整頓等に努めた結果、23年はこれらの支出が大幅に減少しており、管理費全体は計画よりも低く抑えられている。交通費分を含めた人件費が計画より大きくなったが、最終的にはほぼ計画通りの収支になった。	適
管理費	1,182,000	1,118,356	△63,644		
消耗品費	240,000	30,461	△209,539		
燃料費	0	0	0		
印刷製本費	0	0	0		
光熱水費	459,000	462,468	3,468		
修繕料	145,000	187,000	42,000		
通信運搬費	37,000	46,757	9,757		
広告料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	100,000	90,770	△9,230		
委託料	168,000	161,400	△6,600		
賃借料	0	0	0		
その他	33,000	12,000	△21,000		
租税公課	0	127,500	127,500		
事業費(ソフト事業等)	0	0	0		
一般管理費	0	0	0		
支出計	4,400,000	4,549,651	149,651		
収支	0	△14,500	△14,500		

総合コメント
 今年度と前年度の会館日数と利用日数との割合を比較してみると、土日・祝日の利用率に大きな変化がないものの、平日の利用率が大きく低下しており、それにつられて全体の利用率が低下している。これは、今まで体育の授業で利用していた西日野にJ学園が、生徒急増対策として鈴鹿市と桑島地区に分校を新設したことによって生徒数が半減し、学園内の体育館で対応できるようになったことが原因である。しかし、一般利用者の人数は前年と大きな差はなく、一回当たりの利用料が大きい団体の利用回数が増加したことから、全体的には利用料収入が伸びた。支出においては、今年度も経費削減の努力を重ね、施設の維持管理や火災・防災への対処も適正に行われていた。しかし、交通費を含めた人件費や水銀灯の修繕費が計画より大きくなり、収支としては少しのマイナスになった。今後も経費削減を引き続き行い、障害者の利用数が増加するための工夫を考えると考える。

平成23年度 四日市市障害者体育センター 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
	利用実績	開館日数：297日 延べ利用者5,543人【障害者利用1,645人（付添者597人含む）、一般利用3,898人）、稼働率74.1%】	適
事業 収支	収入	利用者数は減少したものの、一般利用者数は前年度とあまり変化がなく、一回当たりの利用料が大きい団体の利用回数が増加したことから、料金収入は計画を上回った。	適
	支出	人件費に関してはほぼ計画通りの金額になっていたが、交通費の323,090円を含めると、計画の金額より大きくなってしまった。管理費に関してはほぼ予定通りの支出であった。消耗品や事務用品等の支出をかなり抑えられており、節約管理が徹底されている。修繕料は計画よりも大きくなってはいるが、プレーカーの修繕や水銀灯の交換により額が大きくなったので、これに関しては施設管理上必要な修繕である。それ以外の管理費は、常日頃のメンテナンスが行き届いており、職員が交代勤務で施設全体における整理整頓や節約管理も徹底していることから、今年度もほぼ計画通りの経費支出で済んでいる。収支としては少しのマイナスになってはいるが、上に挙げた必要経費によってこのマイナスが生まれたことから、決算書を見る限り大きな問題点はなく、健全な運営ができていると評価する。	適

平成23年度 四日市市障害者体育センター 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面・実地確認	適正な書類が提出された。	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面・実地確認	地方自治法など各種法令・規程に関する書類は提出されていた	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、4/27報告 毎月月次報告確認	仕様書通り行われている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	計画、報告、月次報告確認	仕様書通り行われている	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	4/1予算、4/27決算、毎月書面確認	仕様書通り行われている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	書類管理、指定管理者面接	十分に情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	毎月書面・実地確認	仕様書通り行われている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	毎月書面・随時実地確認	仕様書通り行われている	適
非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	報告・書面・実地確認	仕様書通り行われている	適	
	緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	報告・書面・月次報告	仕様書通り行われている	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告・書面確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	随時報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	随時報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	随時報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされている	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	点検・保守は行なわれている	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	点検・保守は行なわれている	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	月次報告・実地確認	清潔に清掃されていた	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	月次・実地確認	適切に管理されている	適
	防災	マニュアルは作成されているか	随時・実地確認	作成されている	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	随時・実地確認	適切に管理されている	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	月例会議・実地確認	パンフレット類は整備されている	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	該当なし		
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	随時・実地確認	毎月の整備点検時に実施していた	適
	システム管理	更新・変更は常になされているか	随時・実地確認	毎月の整備点検時に実施していた	適
		トラブルに対応したか	随時確認	適切に管理されている	適

総合コメント

法令等の遵守及び募集要項等に基づく業務計画等の実施について誠実に履行されていた。報告書等も期限までに提出されており、職員の配置、設備機器等の保守・管理、保険の加入等についても適正に履行されていた。緊急避難時マニュアル・連絡網等についても更新され、きちんと整備されていた。
 なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び連絡調整等で随時行なった。

平成23年度 四日市市障害者体育センター 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
障害者スポーツの普及啓発	四日市ろうあ福祉会スポレク	5月29日 ろうあ福祉会会員と家族を対象に卓球・卓球バレー・フライングディスク・借り物競争などを実施 参加者40名(うち障害者20名)	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会卓球とスポレク	6月27日 肢体障害者を対象に卓球を中心とした競技を実施 参加者14名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会卓球とスポレク	10月23日 肢体障害者を対象に卓球を中心とした競技を実施 参加者13名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会卓球とアーチェリー初心者教室	2月19日 スポーツレクリエーション大会と共催して実施 参加者それぞれ10名と8名(アーチェリーの支援者が30名)	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市肢体福祉会卓球とスポレク	3月6日 肢体障害者を対象に卓球を実施。 参加者24名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	シューティング・アロー親善大会	3月6日 肢体障害者を対象にアーチェリー初心者講習会を実施 参加者10名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
障害者スポーツの普及啓発	四日市車いすの会スポレク交流	3月18日 車いすの会の会員とその家族等が、卓球バレーやダーツ等を実施 参加者24名	障害者スポーツの普及啓発を通じて、社会参加を実現する取り組みとして評価できる。	適
総合コメント				
前年度以上に、障害者スポーツ啓発に関する自主事業が開催されており、障害者の社会参加を実現するためのきっかけの場を多く設けている点で評価できる。				

平成23年度 四日市市障害者体育センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適合
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	随時 指定管理者と面接	十分に情報共有が行われている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	月次報告及び実地確認	仕様書通り行われている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書類・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等行なわれた。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	随時報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
	修理	修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	随時実地確認	報告されている	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	建築基準法・消防法等に定められた点検がなされ、修繕等行なわれた。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	月次報告・実地確認	仕様書通り行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	月次報告・実地確認	不具合が生じた際に、適切に報告がなされている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	月次報告・実地確認	報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	月次報告・実地確認	適切であった	適

総合コメント

消防用設備の点検は、業者によって外観点検や機能点検等が半年に1回、総合点検が年に1回実施され、また職員も毎日点検を実施していたので、その結果を連絡調整会議で確認した。点検や検査の実施状況について、緊急又は異常箇所は発見次第、報告・協議を受け、必要によっては担当者が現場に直行し、必要な修繕等ができるよう随時調整等を行った。(玄関の手すり設置等) また、換気設備等の建築設備の点検も年に1回実施されていることから、設備の維持管理状況は適切であると言える。
 なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び連絡調整会議等で行なった。

平成23年度 四日市市障害者体育センター サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
		許可証は速やかに発行されたか	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	月例会議・実地確認	仕様書通り行われている	適
		ホームページは見易いか	該当無		
	受付・応対 業務	担当者の接客態度は良かったか	実地随時確認	良好であった	適
		利用者に対する指導は適切であったか	実地随時確認	適切に対応されていた	適
		業務従業者は名札を着用しているか	実地随時確認	着用していた	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	実地随時確認	仕様書通り行われている	適	
維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま 放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま 放置されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石 鹸は常に補給されているか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保た れているか	実地随時確認	清潔に清掃されていた	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	実地随時確認	障害物は見られなかった	適
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者 が安全に利用することができるか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置 されていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
		草刈りや除草はされているか	実地随時確認	良好に管理されていた	適
	環境衛生管理 業務	快適に利用できる環境となっていたか	実地随時確認	快適に利用できる環境となっ ていた	適
	廃棄物処理 業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	実地随時確認	適切に分別が行われていた	適
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置さ れていないか	実地随時確認	適切に管理されていた	適	

総合コメント

実地調査において運営面では、募集要項、仕様書で定めた体制を守り、利用者への対応についても苦情はなかった。また、施設の維持管理面では、館内の清掃、点検を日常的に実施し、外溝や備品等についても管理されていた。

利用者アンケートを実施し、料金及び利便性について、昨年に続き適正で使いやすいとの評価を得た。改修された設備管理についても良い評価を得ており、総合的には適正に管理運営されていると評価した。

なお、各項目の確認方法については、上記のほか月次報告書及び連絡調整会議等で行なった。